

スローライフ通信

44

スローライフ通信 第44号
平成24年11月15日発行
編集：スローライフ読者委員会
社会福祉法人和寛会
本誌事務局
大塚橋八幡仲太田3-208

http://www.slowlife.or.jp

心と身体を開放して 芸術と運動の秋

心のままに 色と遊ぶ

10月21日にパス
テルアートのボラ
ンティアで末永先

生に来て頂きました。

パステルアート
とは、好きな色を使
い、思いのままにパ
ステル画を描き、そ
の活動を通して心

感性を存分に表現して完成。
カラフルできれいな作品ですね。

の中にあ
る思いを
開放する
というも
のです。
手順と
してはま
ずベース
の色を選
び、その
色を茶漉



下塗りに型紙を当てて消しゴムで
白抜きにします

して削り、削りかす
を台紙に指で塗り
つけます。

その後、好きな形
を切り抜いた厚紙
を当て、切り抜いた
部分を消しゴムで
擦ります。するとそ
の部分だけが白抜
きになるので、その
部分に別の色をつ
ける等アレンジを
します。仕上げに先

生がラメを振って
完成です。

毎月1回訪問し
て頂いていますが、
作品の構想を練り
ながら、1ヶ月の間
楽しみに待ってい
るご利用者の方も
おられます。

スローライフ千
里で行う文化祭にも
パステルアート作
品が多数登場しま
した。

これからもきれ
いな作品をたくさ
ん作って頂く予定
です。



消しゴム後はこんな感じになります

歓声あげて、そりゃあ
ムキにもなります。

朝晩と昼間
の気温差が身に

しみませんが、体を動
かすにはもってこ
いの季節となりま
した。

10月19日に2階
のグループホーム
では恒例の運動会
を開催。紅と白に分
かれての熱い戦い
が繰り広げられま



した。
もちろん
準備運動
は入念に
行ったので、
ケガも無く無事
に終える事が出来
ましたが、特にパン
食い競争や玉入れ
では、みなさんかな
りムキになって(中
には白熱しすぎて
ケンカする方まで)
大いに盛り上がり
ました。

笑う門に福を呼び寄せたい敬老のお祝い。

職員のかくし芸?
つぎつぎ披露!

9月17日、敬老の
日を迎えたこの日、
スローライフ生駒
では敬老会が催さ

れました。

施設長の挨拶で幕
を開け、いつも以上
に厨房の方が腕に
縋りを掛けた食事に、
皆さん舌鼓をうた

各スローライフでの行事や日常を紹介します。

すろー
らいふ
な日々

れていました。

今年、傘寿・米寿・卒寿そして百寿を迎えられる方もおられ、お祝いに池田理事長も駆けつけてくれました。

恒例の、スタッフによる出し物とは、例えば、往年のドリフターズを彷彿させるヒゲダンスあり、ものまね四天王の再来かと思うほどのモノマネ歌合戦あり、そして施設長によるミスターマリックも真つ責(?)な奇想天外なマジ

ックショーありと盛大に、そしてほのぼのと行われました。

まだまだ皆様には心身共に健康で茶寿・皇寿・大還暦と長生きしていただき、皆様のそばに寄り添っていただくとスタッフ一同心から願っております。



おいしいご飯を食べて、その後はどんちゃん騒ぎ(?)

より快適な施設環境を目指し



ご迷惑をお掛けしますが、改修工事を行います。

スローライフハ尾では、老朽化してきた設備機器の更新をはじめ、省エネ対策などの改修工事を行っております。期間中は大変ご迷惑をお掛け致しますが何卒ご協力の程お願い申し上げます。

- サッシ(窓)の追加二重サッシ化)
- 外壁塗装
- 給湯システムの更新
- 別棟の建設
- 工事期間(予定) 平成24年10月22日 ~ 平成25年3月31日

さわやかな秋晴れの1日 気持ちよく体を動かす。 さわやかな空気 の10月、デイケアと入所サービスそれぞれに秋の運動会を開催しました。 デイケアでは、スラックアウトや玉入れなどリハビリも兼ねた運動を、入所では、借り物競争やパン食い競争などで元気いっぱい体に動かしました。 どちらも職員まで熱くなり、声援にも力が入っていました。



入所利用の方々の運動会

お知らせ

インフルエンザ 予防接種のすすめ

共通

空気の乾燥する季節となり、今年もインフルエンザの流行が懸念されています。 各スローライフでは、職員の予防接種はもちろんですが、入居・入所利用の方々にも、高齢者インフルエンザ予防接種の制度を活用し、予防接種を順次お受けいただいております。

東日本大震災火ボランティア体験記

災害を乗り越えた介護施設。被災地の今、

そして自分たちにできること。

震災発生から1年半が過ぎた今も、東北の各地では復興が思うように進まず、支援を必要としている地域がたくさんあります。 そうした中、吹田市社協施設連絡会が計画した、災害復興支援ボランティアバスに、スローライフ千里の行本施設長と3人の職員が参加しました。その際の様子を、行本施設長の手記で紹介いたします。



被災地の現状を 目の当たりに

8月24日から2日間、宮城県南三陸町に、スタッフ3名と瓦礫撤去のボランティアに参加してまいりました。吹田市社協施設連絡会が昨年引き続き災害復興支援ボランティアバスを計画したもので、福祉関係者30名の皆様と共に参加をさせて頂きました。

一日目は、現地の指導員の指示に従い瓦礫の撤取に取り組みました。指導員の皆様も近隣市からボランティアで来られていました。炎天下の中での作業でしたが、指導員の皆さんが私たちの体調に配慮して小刻みに休憩を与えて頂き、無事作業を計画通り終了することができました。

最後に、指導員の方が、マスクミでは伝えられていないが、農業や漁業関係、住宅地で瓦礫撤去すら遅々として進んでおらず、見たままを広く伝えて欲しいと切実に訴えておられました。

また、被災地が何とか出荷している商品を買って頂ける事も大きな支援になります」という訴えに、急遽、南三陸の仮設商店街での買い物ツアーとなりました。今年の海藻は震災以来収穫されなかったため、品質が大変良いそうです。

壮絶な 被災体験

翌日は、クローズアップ東北でも取り上げられた宮城県名取市の「特養うらやす」を見学させて頂きました。

昔の写真では施設から海岸まで住宅街が広がっているのですが、当日見

せて頂いた景色には一軒の家も見ることができませんでした。

施設の中には17メートルにも達した津波の爪痕が残されていました。佐々木施設長のお話の中で、介護スタッフが海水につきながらも利用者を抱え机の上上がり耐え忍び、周囲の住宅街が炎上しその火が迫ってくる恐怖と闘って利用者を守り抜いた話は壮絶としかいいようがありません。

また、凍てつく寒さと浸水の中で、おむつを体に巻き防水と保温

の対策を行うなど、スタッフが知恵を出し合い、あるもので様々な対策を講じていくお話も感銘を受けるものでした。

その他にも具体的なお話を聞かせて頂き、参加者は一様に言葉を失うものでした。また、介護職員そして人に対する信頼を改めて厚くするものでした。佐々木施設長の2日頃できていない事が災害時に

次ページに続く



イサービス等ご利用の皆様をはじめ、ご家族様におかれましてはぜひ予防接種をお受けいただくようお願い致します。

手洗い・うがいも心掛けて、これからの冬を元気に過ごしましょう。

介護予防教室

介護教室 11月14日(水)

体操教室 11月21日(水)

11月16日(金) 17日(土)

には八尾市健康展(地域包括展)も開催します。

その他様々な相談業務も行っています。

詳しくは地域包括支援センタースロライフ 八尾「072(990)1220まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

南三陸町のボランティアセンター前で





特別

にでき
るわけ
ではあ
りませ
んーと
いう言葉は印象的
でした。

普段からスタッ
フが利用者様と家
族同様に生活をされ
利用者様中心の介
護が実践できてい
た自信と信頼に裏

付けられたものと
感じました。

災害対策でも、
一からマニュアル
を見直す必要を痛
切に感じる示唆に
富んだお話を聞
かせ頂きました。

改めて感じた
ボランティアの重要性

やはり、一年以
上たった今でも被
災地は様々な支援

健康も笑顔も、それから処世も？ やっぱり「口が大切」

経営栄養という言葉

葉をご存知ですか？

様々な理由によ

り食事を口から食

べられなくなり、

胃ろうや点滴など

により栄養補給を

行う事です。

口腔ケアしましょう。

その際に、もう

口からものを食べ

ていないからとい

うことで、口腔ケ

アを止めてしまっ

事があります。

それは間違いです。

高齢の方は、舌

を必要としており、

行政的な対策だけ

ではなく、ボランテ

ィアでしか対応が

困難な分野も多く、

機会があればまた

出向きたいと思う

貴重な体験をさせ

ていただきました。

最後に、お忙しい

中、見学を受け入れ

て頂き丁寧な説明

と案内をして頂い

た「特養うらやす」

の佐々木施設長と

スタッフの皆様

に心よりお礼申し上

げます。また、ボラ

ンティアを受け入

れて頂いたボラン

ティアセンターの

皆様、こうした機

会を提供して頂き

しつかり準備をし

て頂いた吹田社協

の皆様にも感謝申

し上げます。有難

うございました。

東日本大震災ボランティア体験記

や頬など、口の周

りの機能も若い頃

とは違って低下し

ている為、本来あ

る自浄作用の効果

がそれほど期待で

きません。痰など

から雑菌が繁殖し

易い状況なのです。

雑菌が原因で残

になったり、歯周病

を起こす危険性も

高く、さらには肺炎

を起こす事もあり

ます。

これから空気も

乾燥しますし、日々

の口腔ケアをきち

んと行い、毎日をし

きいきと過ごしま

それぞれの思いを大切に、共に素敵な時間を過ごしたい。

スロライフ
職員紹介
スロライフ千里



入職から、もう4
年が経ちました。

一進一退。みんな

で悩みながら、少し

ずつ作り上げてい

く生活の場に関わ

る事ができ感謝し

ています。

今では四季折々

の食事作り等で入

居者様、ご家族、ス

タッフが共に過ご

せる素敵な時間を

持てる様になりま

した。

入居者様の大切

な一日。笑顔で過ご

して頂く為に、それ

ぞれの思いを受け

止め提供できる介

護者になりたいと

思っています。

グループホーム 島崎 涼

和貴会本部

〒581-0037 大阪府八尾市太田3丁目203番地 電話：072-920-2212 FAX：072-920-2213

スロライフ生駒

特定施設入所者生活介護（ケアハウス）
〒630-0266 奈良県生駒市門前町8番33号 電話：0743-75-1525 FAX：0743-75-1501
デイサービスセンター 〒630-0266 奈良県生駒市門前町8番19号 電話：0743-72-1555

スロライフ八尾

〒581-0844 大阪府八尾市福栄町1丁目12番地 電話：072-990-0100 FAX：072-990-0022
介護老人保健施設・短期入所療養介護（ショートステイ）・通所リハビリテーション（デイケア）・居宅介護支援事業
八尾市地域包括支援センター スロライフ八尾（電話：072-990-1220）

スロライフ千里

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園6番8号 電話：06-6816-1100 FAX：06-6816-1110
介護老人福祉施設入所者生活介護（特別養護老人ホーム）・認知症対応型共同生活介護（グループホーム）・小規模多機能型居宅介護・
認知症対応型通所介護（デイサービス）・夜間対応型訪問介護・短期入所生活介護（ショートステイ）

和きあいクリニック

〒581-0037 大阪府八尾市太田3丁目203番地 電話：072-920-2215 FAX：072-920-2213 内科・整形外科・皮膚科・訪問診療

スロライフ通信・第44号 平成24年11月15日発行
編集：スロライフ広報委員会
社会福祉法人和貴会
http://www.sbw.life.or.jp

